

製品名: NBPF4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14426**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	NBPF4
別名	NBPF4; Neuroblastoma breakpoint family member 4
遺伝子 ID	148545.0
SwissProt ID	Q96M43
免疫原	抗血清はヒト NBPF4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 48-97

背景

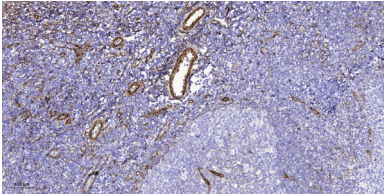
神経芽腫ブレイクポイントファミリーメンバー 4 (NBPF4) ホモサピエンス この遺伝子は、主にヒト 1 番染色体上の分節重複に位置する、最近重複した数十の遺伝子からなる神経芽腫ブレイクポイントファミリー (NBPF) のメンバーです。この遺伝子ファミリー

は、ヒト系統内で最も大きく拡大し、程度は低いものの一般に霊長類の間でも拡大しています。この遺伝子ファミリーのメンバーは、DUF1220 タンパク質ドメインの直列反復コピーを特徴とします。ほとんどの DUF1220 ドメインが位置するヒト染色体領域 1q21.1 の遺伝子コピー数変異は、小頭症、大頭症、自閉症、統合失調症、精神遅滞、先天性心疾患、神経芽腫、先天性腎・尿路異常など、多くの発達性疾患や神経遺伝性疾患に関係していると言われています。いくつかの遺伝子ファミリーメンバーの発現変化は、いくつかの種類 of 癌と関連しています。この遺伝子ファミリーは、多種多様です：染色体 1 の p36、p12、および q21 領域にクラスター化した NBPF 遺伝子の多数のコピーの 1 つによってコードされています。類似性：NBPF ファミリーに属します。類似性：3 つの NBPF ドメインを含みます。組織特異性：精巣で発現します。、

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。2、抗体を 1:200 に希釈した (4°で一晩)。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。